

防災まつば

2023年度 防災専門部会 第1号

松葉町地域ふるさと協議会 柏市松葉町4-11 TEL/FAX 04-7133-4938

防災専門部会 広報委員会発行 <https://furukyo.matuba.org/> Email: furukyo@matuba.org

防災専門部会の活動について

防災専門部会は、松葉町地域ふるさと協議会の組織として、松葉町地域全体に関わる防災・減災を目的とし活動しています。

防災専門部会では、公助・共助・自助による災害時対応における避難所の収容人員の不足、地域の高齢化に伴う共助の担い手不足から、在宅避難を中心に、今後、課題点を検討していきます。

「第5回松葉地区災害対策協議会全体会議」を開催

今年度の活動の一環として、柏市西部消防署、柏市防災安全課、松葉中学校、松葉第一小学校、松葉第二小学校、柏市市民活動支援課、松葉近隣センター、柏市福祉政策課、民生・児童委員、社会福祉協議会、健康づくり推進委員、ふるさと協議会による「松葉地区災害対策協議会全体会議」を開催し、活発な意見交換及び活動紹介が行なわれました。

各種意見及び活動報告

柏市より防災体制説明

- ・ 【地区災害対策本部】連絡系統の説明
- ・ 松葉地域内の避難施設及び収容人数

施設名	屋内収容数 (1人4m ²)
松葉第一小学校	144人
松原第二小学校	157人
松葉中学校 (R5.7~R6.2体育館工事中)	232人
松葉近隣センター	275人
計	808人

ふるさと協議会防災専門部員より「避難所開設手順書」の説明

- ・ 避難所に集まった方々が自ら避難所運営ができるよう、避難所開設手順書を作成（松葉中学校版）した。各町会に数冊ずつ配布したほか、ふるさと協議会のホームページに掲載している。
- ・ 避難所については、女性の視点、排泄物の保管、物資の供給、乳幼児、要支援者等、懸念事項が残っている。
- ・ 各家庭で便袋を備蓄し、災害時に備えることを周知

学校

- ・ 教職員が地域と顔見知りになることが重要
- ・ 松葉学区以外の方、帰宅困難者の方など混乱した時、地域と協力することが必要
- ・ 東日本大震災の時は、子どもたちを保護者に引き渡してから、避難所開設した。

消防署

- ・ 防災にとって顔の見える横の連携は大事
- ・ 地域の課題は地域で主体的に関わる必要性（行政は中立的で限界がある）
- ・ 在宅避難者の食糧、物資配布の仕組み作りの必要性
- ・ 災害現地に集合出来るまで、住民の方自身での対処が必要
- ・ 東日本大震災の被災地では、瓦礫の山を陸上自衛隊が片付けてくれるまで道路の通行もできなかった。
- ・ ライフラインが切断された場合、特に水が出ない場合、長期に渡って避難生活が続く場合の研究も必要

健康づくり推進委員

- ・ 赤ちゃん等の課題の話し合いが必要。防災備蓄品におむつやミルクがない。
- ・ 避難所収容人数が不足している。在宅避難対策に力を入れる必要

民生・児童委員

- ・ 発災後、デイサービスに留め置かれた方等は予備の薬がないことが懸念
- ・ ペットの避難※については、他の避難者のアレルギー発作との関係が懸念

※ 「ペット避難受け入れに関するガイドライン」策定（運用開始令和5年9月1日）

避難所マニュアルQRコード

